

平成29年度藤岡多野中体連夏季柔道大会要項

- 1、期 日 平成29年7月15日(土) 8:00集合(計量8:30)
9:00開会式
9:20団体戦
10:00個人戦
- 2、会 場 藤岡市民体育館柔道場
- 3、競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2017～2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、「県中体連柔道部申し合わせ事項」を優先する。
- 4、試合時間 3分
- 5、試合方法
 - 団体戦 (1) 優勢勝ちの判定基準は「技有り」または「指導」差が2段階以上あったときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「指導」差が2段階以上あった場合は、「僅差」の少ない選手を勝ちとする際の名称を「僅差」勝ちとする。
(2) チーム間の勝敗は、次の順により決定する。
 - (ア) 勝ち数による。
 - (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有りによる勝ち」の数による。
 - (エ) (ウ)において同等の場合は、「僅差による勝ち」の数による。
 - (オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。
 - (3) リーグ戦の勝ちチームは、次の順により決定する。
 - (ア) 勝ち数による。
 - (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (ウ) (イ)において同等の場合は、「技有りによる勝ち」の数による。
 - (エ) (ウ)において同等の場合は、「僅差による勝ち」の数による。
 - (オ) (エ)において同等の場合は、代表戦により決定する。
- 個人戦 (1) 各階級別にトーナメント戦を行う。
(2) 優勢勝ちの判定基準は「技有り」または「指導2」以上とする。
 - ※ 新人大会、合同練習試合等の成績、内容を考慮して、各校の顧問の相談により、シード選手等を決め組み合わせを決める。
- (3) 3分間で優劣が決まらない場合は、5分間のGSを行う。それでも、優劣が決まらない場合は、旗判定で決する。
- 6、参加制限
 - 団体戦 (1) 男子は、選手5名、補員2名とする。女子は、選手3名、補員1名とする。
(2) 編成は体重が最も重いものを大将とし、以下順次体重順におこなう。選手が不足する場合にも同様におこない間に欠員をおいてはならない。
(3) 補員の充当により抜けた選手は、以後の今大会の団体戦には再び出場出来ない。
 - 男女個人戦 (1) 男子階級は、50kg(50kg以下)、55kg(50kg超55kg以下)、60kg(55kg超60kg以下)、66kg(60kg超66kg以下)、73kg(66kg超73kg以下)、81kg(73kg超81kg以下)、90kg(81kg超90kg以下)、90kg超の8階級とする。
(2) 女子階級は、40kg級(40kg以下)、44kg(40kg超44kg以下)、48kg(44kg超48kg以下)、52kg(48kg超52kg以下)、57kg(52kg超57kg以下)、63kg(57kg超63kg以下)、70kg(63kg超70kg以下)、70kg超の8階級とする。
- 7、表彰 (1) 団体戦 1位に賞状、優勝カップ
(2) 個人戦 1位に賞状
- 8、県大会出場 (1) 男子団体戦は、1校
(2) 女子団体戦は、1校
(3) 体重別個人戦は、男女ともに各階級1名(県大会シード枠のある階級は2名)
- 9、その他 (1) 審判は、外部審判4名と各校の顧問が行う。(団体戦の場合は、自分の学校がでているときには、顧問と関係者は審判をしない。)
(2) 団体戦のオーダー表を開会式前に提出する。(オーダーは、体重順で行う。)
(3) 各中学校は、団体戦の試合前にオーダー用紙を本部に提出する。
(4) 各校6名(生徒)の係員(呼び出し、計時)を出す。
(5) 計量は開会式前に行う。
(6) 朝の清掃は順番で行い、帰りの清掃は男子優勝校が行う。
(春:東中→ 夏:北中→ 秋:西中の順 で今回は、東中です。)